

2-2-7 近江楽座

近江楽座の取組は平成16年度に始まり、令和2年度までの17年間で生まれたプロジェクトは延べ380件である。扱うテーマはまちづくりを始め、健康医療福祉、環境保全、農業振興、伝統文化の継承、被災地支援と広範で、活動地域も県内のみならず、県外や海外にまで及んでいる。

しかしながら、令和2年度地域での活動を主体とする近江楽座は、新型コロナウイルス感染症の影響を最も大きく受けた取組の一つと言える。前期授業が感染防止対策のため遠隔となったことから従来5月に実施していた近江楽座プレゼンテーションは9月に延期された。その後の活動も、感染防止対策行動指針に基づき月ごとに予め活動計画を近江楽座事務局に提出し承認を得られたものから実施し、翌月に活動報告の提出を求めた。

学生は基本的な感染防止対策の実施を前提に、関係する地域の皆さんなどと協議し安全にできることから取組を行ったが、飲食の提供や地域の方と密に接するような活動の自粛などこれまでと同様の活動ができなかった。一方で、制約のある環境の中で、学生たちが話し合いオンライン活用など工夫した新たな取組やこれまでの振り返り、再始動への仕込みなど、今後活動の幅がさらに広がるような次に記載の取組を行った。

【令和2年度の新たな取組の例】

○定例会議のオンライン化

「ボランティアサークル Harmony」など

- ・ 従来、代表、副代表のみ参加の地域の人との会合に、他のメンバーも参加し共通認識
- ・ 議事録等の資料を紙媒体から LINE グループで公開し、メンバー同士が容易に共有

○イベント等のオンライン開催

「田の浦ファンクラブ学生サポートチーム」

- ・ Zoom 活用した 3.11 キャンドルイベント

「Jesuit House Project」

- ・ オンラインでの設計提案（海外団体との連携）

「ボランティアサークル Harmony」

- ・ クリスマスコンサートを Zoom & YouTube Live 限定公開し、アーカイブで有効活用
- ・ 先輩たちも気軽に参加できる学習会を企画

○ネットショップ開設

「政所茶レン茶 “一”」

生産した政所茶のイベント等での対面販売の縮小への対応

○アーカイブ作成

「木興プロジェクト」「たけともミライ」

コロナ禍でフィールドでの活動ができない時期だからこそ集中して取り組めた。OBOG からも遠隔での技術指導を受けた。

○広報動画作成

「滋賀県大生き物研究会」

生態系保全の環境教育動画

「廃棄物バスターズ」

びわ湖放送と連携した地球温暖化防止啓発動画

○インプットの充実、準備活動

「Taga-Town-Project」

多賀町をもっと知る字めぐり企画

「おとくらプロジェクト」「とよさと快蔵プロジェクト」

メニュー考案、マニュアル作り、店舗改修等

○これまでの活動を振り返り、新たな活動に取り組む機会に

「未来看護塾」

先輩から医療現場や教育現場の実情の声を聴き、小学校での健康支援など新たな取組

「BAMBOO HOUSE PROJECT」

地域の方々とメール交換し、立ち止まって将来を見据えたプログラムの検討スタート

○ 令和2年度の主要なスケジュール

日程	行事
4月	新入生向けメッセージ、活動紹介をホームページ等で公開
8月6日	新型コロナウイルス感染拡大防止のための近江楽座活動指針 策定
9月8日	令和2年度プレゼンテーション・審査会
9月11日	プロジェクト活動開始
11月21日	キャンパスSDGsびわ湖大会2020 活動発表

○ 令和2年度の採択プロジェクト一覧

プロジェクト名	活動エリア	関連団体
県営開出今団地コミュニティ再生プロジェクト	彦根市開出今町	県営開出今団地自治会、滋賀県
BAMBOO HOUSE PROJECT	湖南市菩提寺	菩提寺まちづくり協議会
未来看護塾	彦根市	彦根市立病院、特定非営利活動法人 NPO ぼぼハウス、どんぐり保育園
あかりんちゅ	彦根市・県外	滋賀教区浄土宗青年会
とよさと快蔵プロジェクト	豊郷町	NPO 法人とよさとまちづくり委員会
障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト (ボランティアサークル Harmony)	彦根市、東近江市他	NPO 法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー
子ども学習支援サポーターズ	彦根市・愛荘町	NPO 法人 Links
内湖の再生と水辺のコーディネート (滋賀県大生き物研究会)	彦根市神上沼他	彦根市愛西土地改良区
かみおかベ古民家活用計画 - SLEEPING BEAUTY-	彦根市上岡部町	上岡部町自治会、ベストハウスネクスト(株)
廃棄物バスターズ	彦根市・県内・県外	社会福祉法人いしづみ会、積水多賀化工(株)他
フラワーエネルギー「なの・わり」	彦根市	菜の花プロジェクトネットワーク
座・沖島	近江八幡市沖島町	沖島町離島振興推進協議会、沖島自治会
政所茶レン茶"-	東近江市政所町	政所茶縁の会
とよさらだプロジェクト	豊郷町	豊郷町役場
おとくらプロジェクト	彦根市高宮町	高宮連合自治会
Taga-Town-Project	多賀町	多賀町立文化財センター、桃原プロジェクト、YOBISHI 他
地域博物館プロジェクト (スチューデント・キュレーターズ)	米原市・高島市・近江八幡市	白谷荘歴史民俗博物館他
田の浦ファンクラブ学生サポートチーム	宮城県南三陸町歌津地区田の浦、県内	NPO 法人田の浦ファンクラブ他
たけともミライ	宮城県気仙沼市	(株)高橋工業
Jesuit House Project	フィリピンセブ市	HO-TONG FOUNDATION、NPO 法人セブンスピリット
木興プロジェクト	宮城県南三陸町歌津地区田の浦	NPO 法人田の浦ファンクラブ

○主なトピックス

(1) ボランティアサークル Harmony 文部科学大臣表彰を受賞

令和2年11月9日に令和2年度「障害者の生涯学習支援活動」にかかる文部科学大臣表彰を受賞した。これは、平成15年の結成から今日まで17年間「NPO 法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー」の専属ボランティアとして、障がい児・者の自立支援及び共生社会に向けての活動を行ってきたことが高く評価されたもの。また、令和3年1月15日に滋賀県の三日月大造知事に報告した。



滋賀県知事への受賞報告

(2) 県内の小中学校出前授業で実施

フラワーエネルギー「なの・わり」は令和2年10月14日に、草津市立渋川小学校でひまわりの種の搾油体験を実施した。小学生たちが収穫したひまわりをチームが所有する搾油機で油を搾る体験をし、身近にある植物がエネルギーになる様子を見て学習してもらった。

廃棄物バスターズは、彦根市立中央中学校1年生のSDGsに関する授業で、廃棄物バスターズの活動とマイクロプラスチック問題について紹介した。



フラワーエネルギー「なの・わり」

出前授業での搾油体験

(3) 「キャンドルイベント In 田の浦」のリモート開催

東日本大震災発災から10年目の節目となる令和3年3月11日、宮城県南三陸町の田の浦地区と滋賀の学生メンバーをリモートでつなぎ震災の追悼式を行った。これまでは学生たちが現地を訪問していたが、コロナ禍の中でWEBを活用した形式となった。この模様はYouTubeで配信し多くの人と共有できるように努めた。また、NHK 大津放送局の震災特集番組でも取組が放映された。



リモート開催の様子

(4) 地球温暖化防止、生態系保全啓発動画等の作成

廃棄物バスターズは、滋賀県地球温暖化防止活動推進センターと共同で啓発動画を作成し、YouTubeにアップされた。また、びわ湖放送で廃棄物バスターズの活動を紹介するCMを作成、放映された。

滋賀県大生き物研究会は、大学や近江楽座のキャラクターを使い外来生物が生態系や人間活動に与える影響を内容とする環境教育動画を作成し YouTube に投稿した。

(5) コロナ禍の中、癒しのキャンドルナイトイベント

令和2年12月4日、あかりんちゅは岐阜県大垣市のOKB street 7周年記念イベントで1,000個の手作りリサイクルキャンドルを使ったキャンドルナイトを行った。コロナ禍の時事的な状況や土地に関わるものなど工夫を凝らしたデザインで、地域の方からは「日常なかなか触れる機会のない火そのものの力に魅了され、不思議と寒さもそれまでの気忙しさも忘れてしまいました。」との声を頂いた。



OKB street 7th Candle Night

(6) 新たな取組へのチャレンジ

とよさらだプロジェクトは、耕作放棄地を活用し地域の方のご指導のもと野菜栽培を行っているが、令和2年度は新メンバー加入で例年より耕作する畑を拡大するとともに、新たに果樹、みかん栽培の挑戦を始めた。

Taga-Town-Project はコロナ禍でイベント企画が困難となったため、今期間を情報発信のアウトプットからインプットの時と位置付け、多賀の「字めぐりプロ

ジェクト」として、河内の風穴や桃原ごぼうなど多賀の魅力を探す時間にあてた。

地域博物館プロジェクトでは米原市の旧東草野小中学校の教室に山村景観の模型、展示室の設計図制作など常設展示のプロジェクトを任せられ、展示室完成に向けて取り組んでいる。

政所茶レン茶“一”では、イベント出店が減少し、生産した政所茶販売のためネットショップを開設し広報に力を入れ、また「しがのふるさと支え合いプロジェクト」協定締結の関係でお茶の専門家から日本茶に関する知識修得に努めた。

かみおかべ古民家活用計画では、地域のお祭りで使われ廃棄予定だった竹を利用して、関係団体の専門家の指導を受けて古民家に竹柵を製作、設置した。

古民家を活用しパー「タルタルーガ」を運営するとよさと快蔵プロジェクトでは、コロナ禍で店舗休業にあわせて、キッチンのカウンター前の吊り棚や入口のすのこなど内装のリニューアル作業や、新メニューも考案した。

1回生が27人も加入したおとくらプロジェクトは、古民家で地域の人との交流の場として喫茶営業やギャラリー展示をしているが、コロナ禍で喫茶営業ができないため、メニュー考案会や1回生おとくら体験会など実施し今後の活動の発展に向けた取組を行った。

(7) キャンパス SDGs びわ湖大会 2020 (活動報告)

令和2年11月21日に本学でオンライン形式で開催されたキャンパス SDGs びわ湖大会 2020において、近江楽座の9プロジェクトが、それぞれの活動内容をオンラインパネル展示により発表した。